

日時：令和2年2月15日（土）

午前10時00分～

場所：立田南部地区防災コミュニティセンター

「道の駅周辺整備事業」 説明会

「道の駅周辺整備事業」説明会に関する問い合わせ先
愛西市産業建設部都市計画課 ☎0567-55-7126（ダイヤルイン）

【基本構想】

①現況の整理

上位関連計画、現地調査、関係団体及び利用者ニーズの把握・整理

◆前提条件の整理

◆上位関連計画

『第2次愛西市総合計画』

美しいハス田や肥沃な農耕地、豊富な農産物をテーマとする観光地として、道の駅を核とした観光拠点を整備・強化して集客の基礎を築く

『愛西市都市計画マスタープラン』

「食」につながるはす田（蓮根）の保全、…（中略）…「食」を根幹的に支える田園風景や良好な水辺空間といった原風景の維持・保全

『愛西市まちひとしごと創生総合戦略』

道路利用者の利便性の向上と施設の利用促進を図り、安全で快適な道路交通環境の形成並びに地域の振興を図る

『愛西市緑の基本計画』

- ・ハス（レンコン）をはじめとする特産農産物の、市内外への周知に努める
- ・本市の特産農産物であるハスを最大限に活用した取り組みを展開する
⇒ 眺望スポット整備、収穫体験プログラムの充実 等
- ・「愛西市らしい緑を守る」ための方針図（※右図参照）

『愛西市かわまちづくり計画』（ミズベリング・プロジェクト）

- ・木曾川観光船の舟運ルートをはじめとした、地域資源・拠点を活用した観光ルートの設定・充実化により、観光振興、地域活性化、健康増進への貢献を期待する

◆現地調査

- ・普通車駐車場及び自転車駐輪場の収容台数不足、大型バイク自動二輪車駐車場の未整備が課題
- ・道の駅周辺は、農業振興地域の「農用地区域」として位置付けされている



「愛西市らしい緑を守る」ための方針図

◆ニーズの整理

【関係団体ヒアリングより】

- ・鶴戸川の人道橋架橋検討
- ・既存施設の拡充リニューアル⇒駐車場増設、トイレ洋式化、産直施設、フードコート、多目的広場
- ・特産農産物の収穫体験場の確保
- ・諸設備（トイレ、休憩所、水道、電気等）の整備【花はす田】
- ・花はすの育成、保全、はす田の案内の充実、はす田以外の見所の創出【花はす田】 等

【利用者アンケートより】

- ・家族連れの利用、1人での利用が多い（＝知人友人との利用が少ない）
- ・60歳以上の高齢者の利用が多い（＝若者の利用が少ない）
- ・平日は、他県からの利用者も見られる（＝県内からの利用が大半を占める）
- ・農産物の購入を目的に訪れる人が多く、若い世代は休憩やトイレ目的での利用が多い
- ・収穫体験施設、カフェの新設や駐車場増設、トイレ洋式化、産直コーナー、レストランのリニューアル要望等

②課題の整理

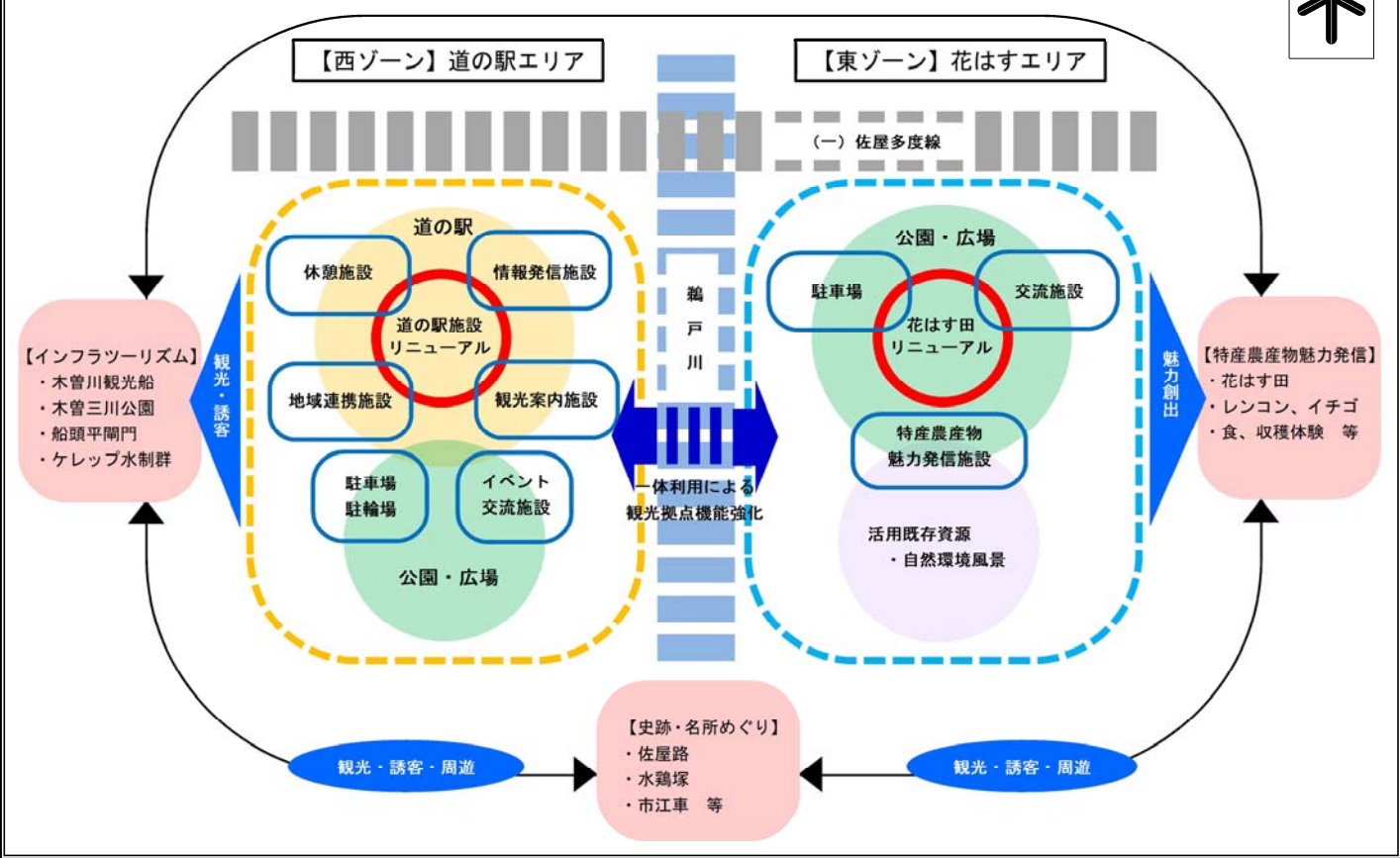
◆長所を活かす施策

- ・既存の利用者（家族連れ、高齢者等）を定着させる施策が必要
- ・既存資源であるレンコンや花はすの魅力を市内外へ発信する施策が必要

◆短所を解消する施策

- ・新たな集客の核（はす田以外の見所）を創出する施策が必要
- ・新規の利用者（若年層、他県居住者、子育て世代女性等）を獲得する施策が必要
- ・利用者や関係団体のニーズに応じた施策が必要（駐車場増設、トイレ洋式化、産直コーナー拡充、花はす眺望デッキ整備 等）

【整備コンセプト図】



③基本方針

愛西市の知名度向上及び来訪者を増加させるため、本市の魅力を広く発信し体験する場として、幅広い世代に好まれる『観光情報発信拠点』を目指す

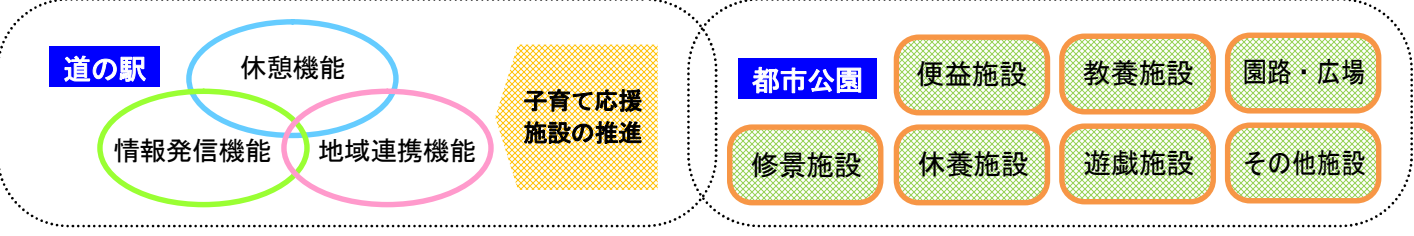
4. 整備コンセプト

西ゾーン（現：道の駅）
“既存施設”を活用した施策の展開

◆コンセプト
地域観光を繋ぐ洗練された情報発信拠点
⇒既存の道の駅の建物に洗練されたデザインを取り入れリフォームし、地域観光の中核を担う拠点として、観光サービスの強化を図る

東ゾーン（現：花はす田）
“既存資源”を活用した施策の展開


◆コンセプト
「特産農産物の魅力発信施設」を目玉とした観光拠点
⇒本市の既存の食資源を体感及び情報発信できる施設や施策を展開し、観光・誘客により地域振興の活性化を図る



【 区域区分図（案）・機能配置図（案） 】

■区域区分について

本事業では、道の駅周辺を一体的な観光拠点として整備していくにあたり、新たに拡張する範囲を「都市公園」として位置づける。「道の駅区域」と「都市公園区域」の区域図を以下に示す。

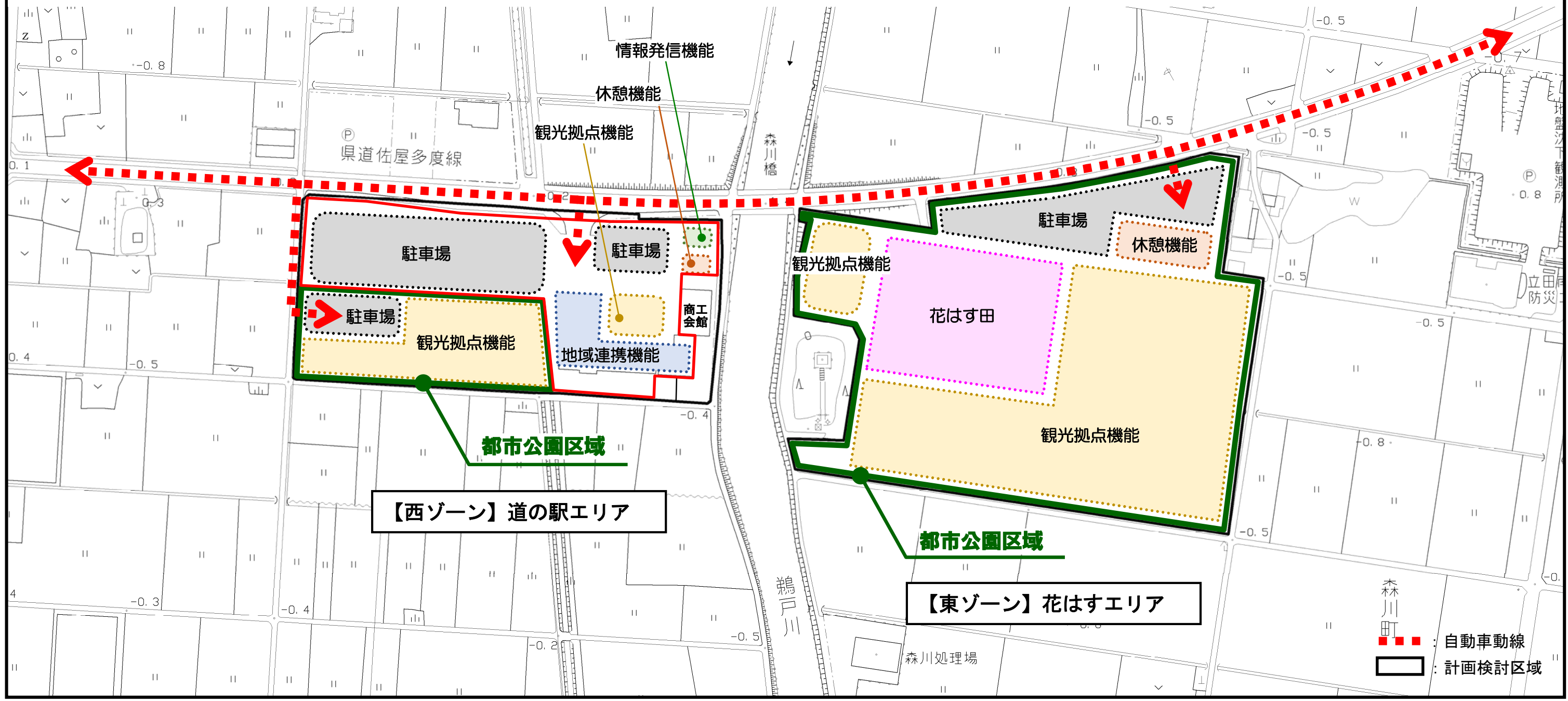
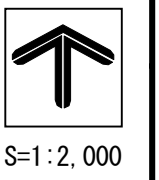


凡例
— : 「道の駅区域」
— : 「都市公園区域」

■導入機能について

【基本構想】で示した道の駅が有すべき3つの機能（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）に加え、本事業では、道の駅周辺を一体的に整備し、一年を通じて高い集客力を確保するため、「観光拠点機能」を新たに追加する。

休憩機能	◎道の駅を含む観光情報発信拠点全体の来場者が、いつでも誰でも快適に安全に利用できる施設を整備する。	地域連携機能	◎本市の魅力を市内外に周知していくため、幅広い世代の来訪者が立ち寄りやすい施設を整備する。
情報発信機能	◎道の駅周辺の観光資源のネットワーク拠点として、いつでも誰でも使いやすいインフォメーション施設を整備する。	観光拠点機能	◎季節や天候に関わらず、子育て世代をはじめとする幅広い世代の来場者が一日中楽しめる施設を整備する。



※この図面は、今後の関係機関との調整により変わる可能性があります。

【基本計画平面図(案)】

【西ゾーン】道の駅エリア

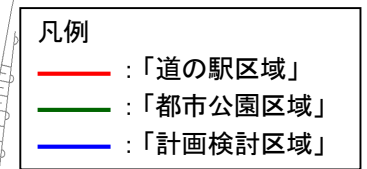
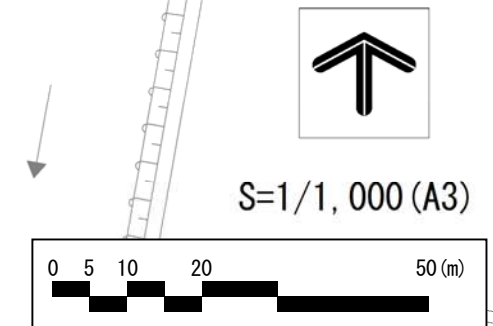
■交流拠点施設A (約110㎡) …情報発信機能 ※新築

- 観光案内所 : 愛西市の観光情報を集約、提供(案内)する観光拠点施設。
- サイクルステーション : 自転車利用者の快適なサイクリングを支援するための環境整備。(将来的にレンタサイクル事業も想定)
- 事務室・会議室 : 観光案内所を運営する事務室及びボランティアガイドの待機スペース、会議等に活用できる施設。



■交流拠点施設B (約140㎡) …休憩機能(24時間開放)、情報発信機能 ※新築

- 道路情報コーナー : 道路情報をタッチパネル等の機器により提供する施設。
- 休憩スペース : いつでも気軽に利用できる24時間利用可能な休憩スペース。
- トイレ : 女性に配慮したパウダールーム、キッズトイレを備えたトイレ施設。
- 子育て応援施設 : 子育て世代の利用者に配慮し、授乳室やおむつ交換台等を備えた施設。



■交流拠点施設C (約430㎡)

…地域連携機能 ※新築

- 農産物直売所 : 自然光を取り入れ、広い通路幅を確保した明るく開放的な直売施設。
- 土産物コーナー/園芸コーナー : 本市の魅力を発信する土産物及び花卉販売スペース。



■交流拠点施設D (約640㎡) …地域連携機能 ※既存施設の改築

- フードコート : 誰でも気軽に利用できる飲食施設。授乳室及びキッズコーナーを併設する。
- トイレ : 農産物直売所やフードコートの利用者が使いやすく清潔感あふれるトイレ施設。
- 管理事務所兼倉庫 : 道の駅の管理運営拠点。
- 従業員休憩室 : 従業員の昼食、休憩の場として活用する施設。

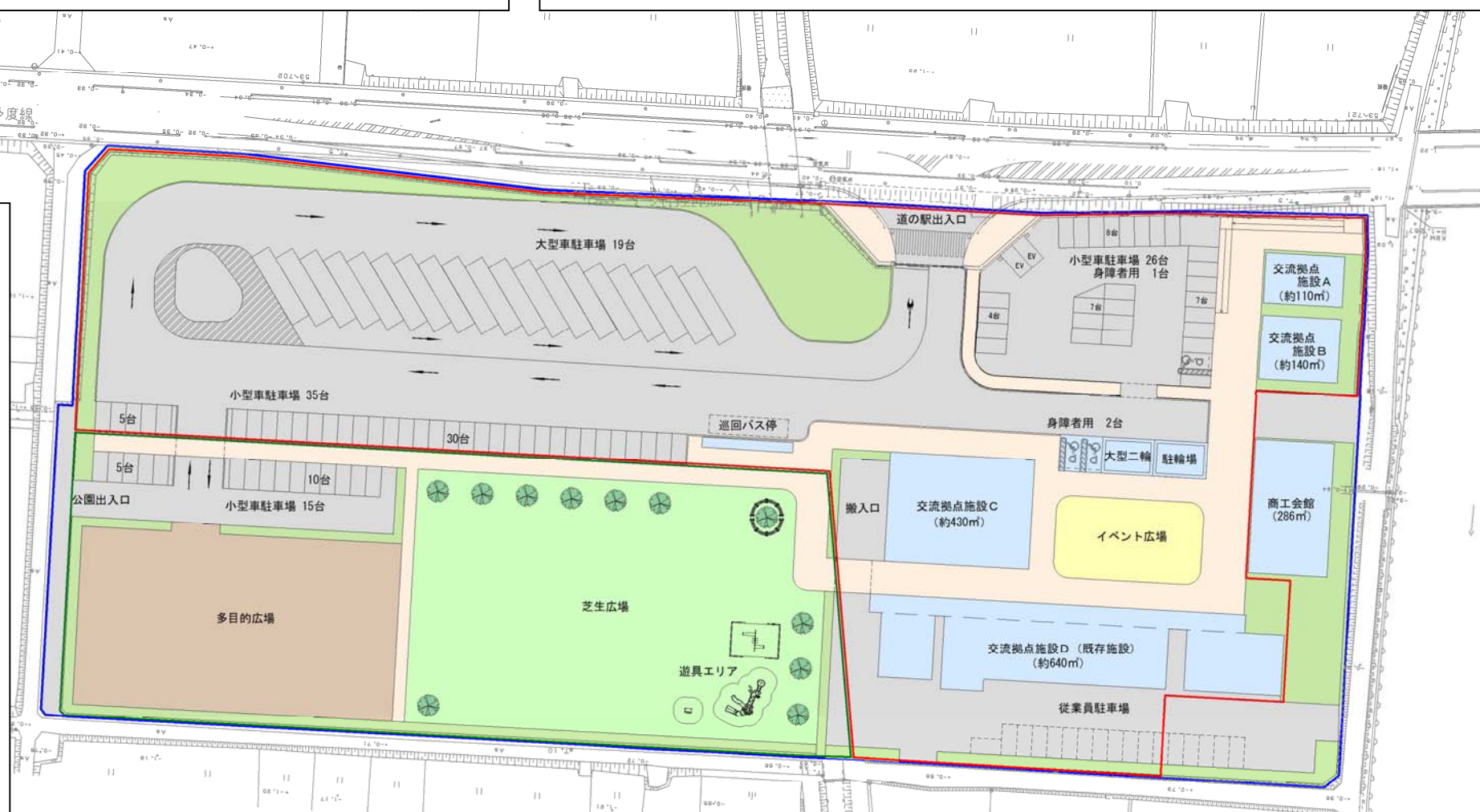


■その他主要導入施設…観光拠点機能

- 芝生広場 : 道の駅施設と一体的に使うことができる広大な芝生広場。また、子どもが気軽に利用できる遊具エリアを設ける。
- 多目的広場 : 道の駅施設と一体的に使うことができる舗装広場。また、イベント等多目的な利用を想定する。混雑時には、臨時駐車場(小型車29台、観光バス5台分)として開放する。



※写真は全てイメージです。



【西ゾーン 駐車台数の整理】

	現状	再整備後	
		平常時	臨時
小型車	52台	61台 (26+35)	29台
大型車	19台	19台	-
観光バス	-	-	5台
身障者	2台	3台	-
EV	1台	2台	-

※都市公園(0.6ha)分として別途小型車15台

【基本計画平面図(案)】

【東ゾーン】花はすエリア

■観光拠点施設(約630㎡)…観光拠点機能、休憩機能 ※新築

- “実食”施設：農産物直売所と連携し、本市の新鮮な農産物を使用した料理を提供する飲食施設。(農家レストラン、カフェ等)
- 多目的室：農業に関する講座や研修、料理教室等、様々な用途に活用できる施設。
- トイレ・更衣室：収穫体験の際に、利用者が使用することができるシャワーブース、更衣室等を備えたトイレ施設。
- 管理事務室：バーベキューテラス・収穫体験施設の受付、公園施設の維持管理等の公園の管理運営に関する事務室。



S=1/1,000 (A3)

0 5 10 20 50 (m)

■その他主要導入施設…観光拠点機能

- 散策路：本市の特産品である花はす、花しょうぶを鑑賞する施設等を巡りながら散策が楽しめる園路。
- 蓮見広場：蓮見の会等のイベント会場として活用できる芝生広場、多様なイベントに活用できる屋根付ステージを整備する。
- 蓮見デッキ：本市の観光資源である花はす田を眺望するデッキ施設。
- 蓮見の丘：園内の花はす田を一望することができる築山。



【東ゾーン 駐車台数の整理】

	再整備後
小型車	85台
観光バス	5台
身障者	2台

凡例
— : 「都市公園区域」 — : 「計画検討区域」



■その他主要導入施設

- …観光拠点機能
- 子どもの遊び場：幅広い年齢層の子どもの利用に配慮し、幼児・児童専用の遊具広場、親水施設、ピオトープ等を整備した施設。
- バーベキューテラス：農産物直売所等と連携し、隣接する道の駅で新鮮な野菜や肉類を購入し、手ぶらでバーベキューが楽しめる施設。(屋根付)
- “収穫体験”施設：本市の特産農産物であるレンコン、春ダイコン、トマトの収穫体験が楽しめる体験農園。



※写真は全てイメージです。

※民間活力導入区画では、安定した集客力を確保するため、整備コンセプトに合致した特産農産物の収穫体験農園をはじめ、公園に賑わいを創出できる施設を想定している。
※東ゾーンにおいては、地元の高校との協働事業も想定している。

※この図面は、今後の関係機関との調整により変わる可能性があります。